

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	風水害出動からの帰所途中、活動隊員及び消防車両への倒木危険が憂慮された事例
3. 体験した事例の中心的要素	風水害出動から帰所途中、暴風雨により道路を塞いでいた倒木を排除していたところ、車両停車位置直近の林で、立木が折れる音が頻繁に発生し、活動隊員、消防車両への倒木危険が憂慮されたもの。 なお、危険認知後、迅速な活動および危険区域からの早期離脱に努めた結果、幸いにも事故には至らなかった。
4. 体験した事例の原因・理由	暴風雨による倒木が憂慮される場面で、不用意に車両を前進させた。更に、狭く滑りやすい坂道であったことから後退、迂回を行わず、前進の障害となっていた倒木を排除するため、隊員を活動させた。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。(延焼の広がりが思ったより早かった等)
------------------	---------------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成25年10月16日 午前8時頃
2. 発生した当時の天候	雨
3. 発生した活動現場	屋外：林の中を通過する狭隘な坂道
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重症の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	転倒、飛来、落下物にぶつかる
7. 事例体験時の活動	風水害等の災害
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	帰署途中
9. 同様の体験は、これまでにどの頻度で体験していますか	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性(回答者は当事者A)



○当事者A	年齢[48]歳、勤続年数[30]年、現場経験年数[30]年、階級[消防士令] 同様の活動 [数年に1度程度]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[55]歳、勤続年数[37]年、現場経験年数[37]年、階級[消防士令補] 同様の活動 [数年に1度程度]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[51]歳、勤続年数[33]年、現場経験年数[33]年、階級[消防士長] 同様の活動 [数年に1度程度]、任務 [機関員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A	活動指揮	
経過2	B	倒木排除活動 倒木切断 道路外への排除	チェーンソー使用
経過3	C	車両運転・停車時の車両周囲警戒	
経過4	その他	倒木排除活動 倒木切断 道路外への排除	チェーンソー使用
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合: ヒヤリハットで淀んだのはどうしてだと思うか？

避難・退避がうまくいった 他隊(員)から適切な注意を受けた 危険情報を把握、予見できた 他隊(員)との連携活動がうまくいった たまたま、事故にならなかった
---

指揮者が適切に指示した

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○ 装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○ 活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○ 指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境や、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○ その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

# ヒヤリハット状況図

状況図

